

平成 26 年度版

平成 26 年度

国立科学博物館 大学パートナーシップ
入会のご案内



**Partnerships
with
Universities**



国立科学博物館



国立科学博物館のロゴマークのご紹介

「想像力の入口」

全体の形は、リズムカルな放物線を描き、恐竜やサメの歯、門のように、また、個々の形は、花びらや炎が揺らめきながら広がっていくようにも見えます。

このように、このマークは人々にさまざまな想像を促します。



国立科学博物館 大学パートナーシップのロゴマークのご紹介

Partnership の頭文字「P」を重ね合わせ、双葉の形をデザインしました。双葉は、力強く伸びていく様子を表しています。

大学と国立科学博物館の連携による大学パートナーシップ事業が発展し、学生の科学リテラシーやサイエンスコミュニケーション能力が向上するよう願いを込めています。

はじめに

科学技術と社会が密接不可分な関係になっている今日、日頃から科学技術について興味・関心を持ち、自らの問題として意識していくことは、科学技術の健全な発展のためにも、21世紀を豊かに生きていくためにも必要です。

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」事業は、文系・理系を問わずすべての学生の皆様の科学リテラシー向上と豊かな感性の涵養に貢献できると考えています。

当館は「日本列島の自然と私たち」をテーマとする日本館、「地球生命史と人類」をテーマとする地球館の展示を併せると、10,000㎡を超える展示面積を有しております。この常設展示におきましては、最新の研究成果を取り入れ、常に新しい情報を提供すべく、随時展示更新を行っております。ご来館いただくたびに新しい発見をしていただけることと思います。

また、毎年多彩な特別展・企画展を開催しており、平成26年度は「医は仁術」、「太古の哺乳類展」、「石の世界と宮沢賢治」等を開催する予定です。

平成17年度に21大学で始まった本事業は、平成25年度現在では62校にご入会頂き、平成25年4月から12月までで、延べ40,000人を超える学生の皆様にご利用頂きました。

昨年度に実施しました利用者アンケートでも、展示やパートナーシップ制度について好評をいただきました。パートナーシップ制度の事業として開催している各種講座についても好評をいただいております。

当館は、今後とも社会に根ざし、社会に支えられ、社会的要請に応える博物館として、大学をはじめとした社会の様々なセクターと連携・協働する博物館を目指していきます。

平成26年2月
独立行政法人 国立科学博物館



1. 連携事業のご紹介

国立科学博物館は、学生数に応じた一定の年会費を納入した入会校の学生のために、次の連携プログラムを用意いたします。

1. 常設展の入場無料と特別展の620円引き



入会した大学等の学生は、学生証を提示することにより、以下の施設へ無料で何度でも入館（入園）いただけます。また、授業の一環で学生を引率して来館した教職員の方は、職員証等の提示により常設展が無料となります。

国立科学博物館（上野公園）

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20



展示面積は10,900㎡で、科学系博物館において国内最大規模を誇ります。

良質で豊富な実物標本資料を中心に、フロアごとに展示テーマを設け、常設展示のメインメッセージである「自然との共存をめざして」を、体系的にわかりやすく伝えられるような展示構成を特徴としています。平成20年度には、日本館が重要文化財に指定されました。

通常入館料：620円

附属自然教育園（東京都港区）

〒108-0071 東京都港区白金台 5-21-5



大都市「東京」の中心部にあつて今なお豊かな自然が残る、都会の中のオアシスともいえる貴重な森林緑地です。園内には、湿地帯の環境が保存されているため、多くの動植物を観察し、生態系について学ぶことができます。

日曜観察会、植物生態学セミナー、自然観察基礎講座など、学習支援活動も行っています。

通常入園料：310円

筑波実験植物園（茨城県つくば市）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1



自然の景観と植物多様性を凝縮した約14万㎡の園内は、「世界の生態区」と「生命を支える多様成区」の2つに分けられ、約3,000種の植物が展示されています。収集保全している植物をもとに、世界の様々な植生環境を再現し、植物の形態や多様性を体験的に学習できるような展示植栽を行っています。

通常入園料：310円

日本館1階の「企画展示室」にて、当館の研究者が中心となって企画する展示です。常設展内の展示であり、パートナーシップ入会校の方であれば無料でご覧いただけます。

平成 25 年度開催例

「江戸人展—からだ語る『大江戸』の文化—」
平成 25 年 4 月 9 日（火）～平成 25 年 6 月 16 日（日）

「日本のアザミの秘密」
平成 25 年 9 月 18 日（水）～平成 25 年 11 月 10 日（日）

「砂漠を生き抜く—人間・動物・植物の知恵—」
平成 25 年 11 月 23 日（土）～平成 26 年 2 月 9 日（日）



平成 26 年度開催予定

「石の世界と宮沢賢治」
平成 26 年 4 月 19 日（土）～6 月 15 日（日）

「ヨシモトコレクションの世界（仮称）」
平成 26 年 10 月中旬～平成 27 年 1 月中旬（予定）

「国産顕微鏡 100 年展（仮称）」
平成 27 年 3 月上旬～（予定）

地球館地下1階の「特別展示室」にて開催される展示です。通常入館料は1,500円前後ですが、パートナーシップ入会校の方であれば、620円引きでご覧頂けます。

※特別展によって620円引きにならない場合があります。



平成 25 年度開催例

「グレートジャーニー 人類の旅」
平成 25 年 3 月 16 日（土）～平成 25 年 6 月 9 日（日）

「深海」
平成 25 年 7 月 6 日（土）～平成 25 年 10 月 6 日（日）

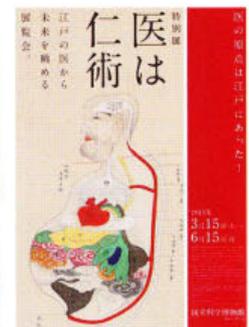
「大恐竜展 ゴビ砂漠の驚異」
平成 25 年 10 月 26 日（土）～平成 26 年 2 月 23 日（日）

平成 26 年度開催予定

「医は仁術」
平成 26 年 3 月 15 日（土）～6 月 15 日（日）

「太古の哺乳類展」
平成 26 年 7 月中旬～10 月上旬（予定）

「ヒカリ展」
平成 26 年 10 月下旬～平成 27 年 2 月下旬（予定）



2. 各種講座等の優先的受け入れと、受講料減額



サイエンスコミュニケーター養成実践講座

科学技術と一般社会との架け橋となるサイエンスコミュニケーター養成のための実践講座です。

- ・ 入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・ 受講料通常 61,710 円のところ 30,860 円で受講いただけます。

※対象は理系の大学院生です。※SC1 は 7 月開講予定。募集要項は 4 月頃に発表予定です。

※当講座を大学の教育課程に応じて大学の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

※SC1 を受講する筑波大学の大学院生は、大学院共通科目「サイエンスコミュニケーター養成実践講座」を履修申請することで、また東京工芸大学の大学院生は、大学院工学研究科工業化学専攻「サイエンスコミュニケーター養成実践講座」を履修申請することで、4 単位が認定されます。

平成 25 年度実施例

- サイエンスコミュニケーション (SC) 1 (7～8 月) コミュニケーション能力の育成 (36 コマ)
- サイエンスコミュニケーション (SC) 2 (10～12 月) コーディネーション能力の育成 (36 コマ)
- SC1, SC2 の両科目を修了すると、
「国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター」認定証を授与



(SC1: 受講生による展示室でのディスカバリートーク)



(SC2: 受講生によるサイエンスカフェ)



大学生のための科学技術史講座

日本の科学技術史に関して、主に当館の研究者が講師となり、様々な分野からアプローチする全 6 回程度の講座です。

- ・ 入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・ 受講料通常 12,340 円のところ 6,170 円で受講いただけます。

※平成 26 年度は 9 月より、第 1・3 金曜日に実施予定。募集要項は 7 月頃に発表予定です。

講義内容一覧 (平成 25 年度)

- 日本のモノづくり
- 日本の技術革新の特徴
- 江戸の明かりと灯用植物
- 日本の近代建築
- ヒトの時代：現代社会と科学技術
- 日本の宇宙科学研究の成果と将来計画





大学生のための自然史講座

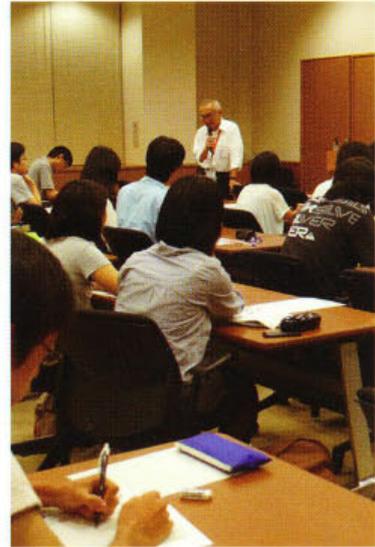
日本列島の自然史について、当館の研究者を中心にさまざまな分野からアプローチする全15回程度のリレー式講座を行います。自然史教養的な内容ですので、理工系学部以外の方でも科学や自然史に対する興味の幅を広げることが可能です。

- ・ 入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・ 受講料通常 30,860 円のところ 15,430 円で受講いただけます。

※平成 26 年度は 5 月より、第 2・4 金曜日に実施予定。募集要項は 3 月頃に発表予定です。
 ※当講座を大学の教育課程に応じ大学の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

講義内容一覧から抜粋（平成 25 年度）

- 太陽系誕生から惑星の形成まで
- 東アジアのテクトニクスと日本列島の誕生
- 脊椎動物化石から想いをはせる日本の中生代、古生代
- 日本人と寄生虫
- 日本人の暮らしと植物との関わり
- 島国日本の環境と鳥の生態
- 昆虫からみる日本の生物多様性
- 何が日本のランの希少性を生んだか
- カビに国境はあるか
- 骨形態の時代的变化
- DNA 分析による日本人の起源



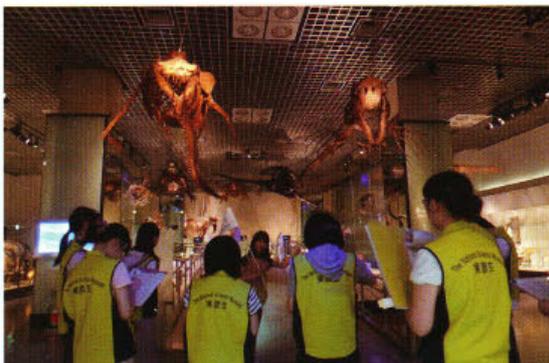
学芸員資格取得のための博物館実習

博物館学芸員の資格取得を目指す方のために、調査研究・資料の収集保管について実習を行うコースと、学習支援活動について実習を行う 2 コースを設けています。

- ・ 入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・ 実習料通常 10,290 円のところ 5,150 円で受講いただけます。

※対象は大学生または大学院生です。
 ※募集要項は、例年 1 月末～ 2 月上旬頃に各大学宛にご案内しています。

実習風景一例



（学習支援プログラムの実演）



（仮剥製の製作実習）

大学のオリエンテーションや講義で国立科学博物館を利用してもらい、学生の皆さんに博物館の楽しさや面白さ、見学方法を知ってもらうガイドンスを行っています。

- ・ 入会校のみご利用いただけます。
- ・ 別途料金等は必要ありません。(無料でご利用いただけます)

※随時受付けています。

※実施は国立科学博物館の開館日（ただし8月は除きます）となります。

※各入会校につき年2回までの実施とさせていただきます。

ガイドンスの内容例

- 展示の見どころ紹介
- 博物館の研究活動
- 国立科学博物館の概要
- 学習支援活動
- 展示解説について



(ガイドンスの様子)



(館内見学の様子)

2. ご入会について

「国立科学博物館大学パートナーシップ」にご入会を希望される場合は、以下の項目をご確認の上、お手続きください。

申込単位

大学、短期大学、専修学校（専門課程）及びそれらを設置する法人を単位とした申込になります。なお、学部での申込については、ご相談に応じます。

会員証

入会した大学・学校には、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行いたします。

入会期間

国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行した日から、平成 27 年 3 月 31 日（火）までとします。

年会費

会費は以下の表のとおりです。

※消費税の増税に伴い、前年度と金額が異なります。

学生数	学生数					
	1 千人未満	1 千人以上 2 千人未満	2 千人以上 5 千人未満	5 千人以上 1 万人未満	1 万人以上 5 万人未満	5 万人以上
新規	154,290 円	205,710 円	257,140 円	462,860 円	925,710 円	1,440,000 円
継続	133,710 円	185,140 円	236,570 円	411,430 円	822,860 円	1,285,710 円

※学生数には、大学院生、通信制課程、科目履修生等を含むことができます。

※学生数は、申込時直近の学校基本調査（文部科学省指定統計）に基づく在学者数とします。

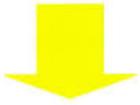
※「継続」の会費は、連続して 2 年以上ご入会いただいた場合の 2 年目のご入会から適用します。

※新規入会に限り、年度途中の入会にかかる当該年度末までの会費については別表の該当する年会費を 12 で除して得た額（その額に 10 円未満の端数が生じたときは 10 円に切り上げた額）に入会日の属する月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とします。



申込手順

申込の準備



入会を希望する大学・学校は、以下の①～③をご準備いただくとともに、電話またはメールにて、下記の連絡先に入会希望の旨ご連絡ください。

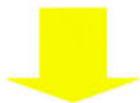
- ①入会申込書（別紙1）
- ②大学要覧・入学案内等
- ③学校基本調査（申込時直近のもの）の在学者数が明記された部分の写し

申込書の送付



上記の①～③を申込締切日までに下記の連絡先に郵送してください。

会員証等の送付（5月頃）



当館で申し込みを受理した後、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」と学生数に応じた年会費の「請求書」を各大学宛にお送りいたします。

年会費のお振り込み（5月～6月頃）

請求書に記載された年会費を、請求書の発行から1ヶ月以内に当館指定の口座にお振り込みください。



申込締切日

継続申込の場合 **平成26年4月11日（金）まで**

- ※在学生への無料入館等の便宜を図るため、3月末日までに電話等で継続申込のご連絡をいただければ、在学生は、4月1日から無料入館等可能です。
- ※年会費の振込時期等につきましては別途ご相談を承ります。

新規申込の場合 **平成26年3月18日（火）まで**

- ※会員証が発行された日から学生の無料入館等が可能になります。
- ※入会を希望される大学は、早めのお申し込みをお奨めします。
- ※締切日以降のお申し込みにつきましては、別途ご相談を承ります。



本件お問い合わせ先（お気軽にお問い合わせください）

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20 独立行政法人国立科学博物館
事業推進部 学習企画・調整課 「国立科学博物館 大学パートナーシップ」担当

電話 03-5814-9876 FAX 03-5814-9898 e-mail : upartner@kahaku.go.jp

* 当館ウェブサイト (<http://www.kahaku.go.jp>) でも、本制度を紹介しております。

3. 利用者の声

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」利用者の声

本制度により当館を利用された学生の方を対象としたアンケートでは、制度及び展示等に対するご好評を多数いただきました。その一例をご紹介します。

□学芸員免許の履修をしているので、見学しやすくありがたい。

(国士舘大学理工学部 男性)

□規模が大きい施設のため、何度か来てじっくり見るためにちょうどよい制度。是非継続して頂きたい。

(上智大学 男性)

□宇宙線をみる霧箱、シアター360、ミイラの女性 体験できる装置なども豊富で、小学生位の子でも楽しみながら、科学的興味をひく内容が多く、1日じゃ見切れない位です。とても満足しています。

(玉川大学 女性)

□どの展示もあまりしらないような人でも理解出来るように分かりやすい説明がされていたり、ユニークな展示がされていると思う。例えばディノニクスの全身骨格をまわせるようにして、細かいところまで観察できるようにしてあったり、クジラとシャチの口の動き方の観察、自らが体験して科学技術を学べるようなコーナー、ノコギリクワガタでも都道府県によって異なることが示された展示が挙げられて、どれも素晴らしいし、この他の展示も素晴らしかったです。

(東京環境工科専門学校 女性)

□無料でデートができて、なおかつ勉強になる。(東京都市大学知識工学部 女性)

□博物館や美術館を訪れる良いきっかけになっていると思う。文献調査も大切であるが、やはり足を運んで目で見るということも重要だ。(東邦大学 男性)

□忠犬ハチ公やジロタロの片割れがここに展示してあるとは知らず、驚いた。絶滅してしまった(ニホンカワウソ)はく製も飾ってあるので、これからの日本人にも知って貰えてとても良いと思う。

(日本工業大学 女性)

□楽しかったです。中高と見学しましたが、大学生になって新しい視点で見ることができました。

(明治大学 男性)

□一言で科学と言っても生物・工学・宇宙と幅広いことを実感させられる広大なスペースに感動した。もっと広い視野で学問に取り組むべきだと感じた。

(早稲田大学 男性)

※順番は大学名の五十音順

平成25年度の本制度利用者数は、昨年12月時点で延べ40,000名を超えました。また、上記感想にみられるように、文系・理系を問わず多くの方からご好評を頂いております。

すべての学生の科学リテラシー向上に資するという、本制度の趣旨をご理解頂き、ぜひともご入会下さいませようお願い申し上げます。

また、積極的利活用について学生便覧等でご紹介いただけると幸いです。

国立科学博物館 大学パートナーシップ入会申込書

平成 年 月 日

独立行政法人国立科学博物館長 殿

国立科学博物館 大学パートナーシップに下記のとおり申し込みます。

フリガナ 大学名・学校名			
フリガナ 学長名・校長名	印		
種 別 <small>※該当する□にチェックを入れてください</small>	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 専修学校(専門課程) <input type="checkbox"/> その他()		
学 生 数	人 (平成 年 月 日現在)		
年 会 費	円		
事 務 担 当	所属部課		
	フリガナ 氏 名		
	所在地	〒	
	連絡先	TEL	FAX
		E-mail	
ホームページアドレス	<small>※当館ホームページから大学パートナーシップ校としてリンクしてよければご記入下さい (または昨年度からの変更があればご記入ください)</small>		
その他連絡先	<small>※上記以外に、企画展・特別展、各種講座等のご案内先があればご記入下さい</small>		

この入会申込書に、以下の3点を添えて国立科学博物館事業推進部学習企画・調整課へ送付下さい。

- 1 学生証の見本(カラーコピーも可)
- 2 学校基本調査(お申込日現在における直近のもの)の、在学者数が明記された部分の写し
※対象となる学生の区分(聴講生等)が全て明記しているもの
- 3 学校要覧・入学案内等